



町づくりについて話し合った議員懇談会

議会活性化検討 特別委員会報告

町農業委員会との懇談会に続き第2回目として、町建設業協会と2月23日にあったまりランド深堀で、町づくりについて懇談しました。これからも、多くの町内グループ、団体と懇談したいと思っておりますので、お申し込みをお待ちしています。

議員懇談会に思う

大石町建設業協会
会長 大場 和敏

この度初めて議員の皆様と建設業界との懇談会を開催していただきありがとうございます。

建設業界は現在、リーマンショック以来未曾有の不況に陥り、公共工事、民間工事共に減少し、先の見えないデフレスパイラルに陥っています。

大石町は、昔から「職人の町」として有名であり、多くの人が、何らかの形で建設業に関わっていると思われる。そんな中で、議員の皆様との意見交換ができたことは、非常に意義があったのではないかと考えています。

町の人口が減り、若い人がいなくなったり、技術の伝承もなくなっている今、将来を見据えながら、議会と建設業協会が協力し合って行かなければならないと思うので、これを機に二度三度と意見交換ができればと思います。

「議員の出前懇談会」の募集

町づくり等について議員と話してみませんか!!

町づくりの課題などについて話し合い、住民の意見を議会運営に反映させたいと思います。詳細は議会事務局までお問い合わせください。

電話 35-2111 (内線312)

尾花沢市大石町環境衛生事業組合議会議員行政報告

視察地

岩手県 盛岡地区衛生組合滝沢処理センター
宮城県 南三陸町衛生センター

視察日

平成22年2月15日～16日

循環型社会に対応したプラントを視察

環境衛生事業組合では、厳しい現下の行財政状況のなか、今後の施設整備について中長期的計画に基づいて対応が求められています。現在は、「市・町一般廃棄物処理基本計画及び循環型社会地域推進計画」の策定に取り組んでいます。特に老朽化が懸念されている「し尿処理施設」の整備については、更新・大規模改修等の方式や、循環型社会に向けた汚泥等の再生処理方式、それらに付随する設置後の維持管理などを検討、協議しています。

これらの計画策定に向け、広く知識の取得・研鑽をはかるべく視察研修に行ってきました。

今回視察してきた両施設は、共に汚泥の資源化施設があり、循環型社会に対応したすばらしいプラントでした。また脱臭設備を備えるなど、職員の作業環境や地域地区民へ考慮された施設でした。

(記 青木久子議員)



実情に即応しているのか、現高齢者タクシー制度



星川 久 議員

急速な少子高齢化の進展により、さらに交通弱者世帯が増える状況のなか、制度の見通しの考えは、

町長 高齢化社会への進歩がさらに加速するなか、お年寄りが買い物や通院等に使う交通機関の問題はますます深刻化している状況にあると認識しています。今後整合性を保ちながら、より充実した制度とすべく検討していきます。

現在の福祉、高齢者タクシー事業実施要綱条例では地域格差があるので、

町長 できる限り格差をなくすよう努め、例としてスクールバスの活用も含めて、今後検討をはかりたいと思います。

空き家利用対策について

全国の地方自治体が相次いで移住推進策を策定して実行に移しています。いずれも人口減少と高齢化に危機感を持つ自治体が目立ち、自然環境のよさをアピールして移住者を増やし、地域の活性化に結び付けようとしています。当町としても空き家を利用して「ターナー」や「Uターン」を積極的に推進すべきと思うが、

町長 町内の空き家状況を昨年調査しました。結果的に、町内の大半の地区に住宅・作業場など合計79棟の空き家があり、内38棟は再利用が可能という結果です。

移住促進するためには行政が関与することによ

る安心感の付与が大たるものと思えますがその現状は、

町長 空き家情報を提供している市町村が一時期県内で20団体ほどありましたが、現在は問い合わせがある場合に臨機対応することが主流となっています。



定住対策の一環に、町内の空き家利用を

最北専門校の利活用は町長 町が県より管理を依頼されており、今後第6次総合振興計画のなかで利活用を検討していきます。

交通弱者対策について

町長：現実に即した制度とすべく検討してまいります。